

山口県医師会 IT フェア

と き 平成 29 年 2 月 25 日 (土) 15:00 ~ 17:00

ところ 山口県医師会 6 階会議室

[報告: 常任理事 今村 孝子]

山口県医師会 IT フェアは、平成 20 年から適宜開催され、今回で 4 回目となる。今回の開催目的は、昨年 12 月に設立された日本医師会 ORCA 管理機構株式会社、医師資格証の取得状況、医療等 ID など、新しい動きを会員に情報提供するためである。

講演 1 は、日医総研で ORCA プロジェクトを推進しておられた上野智明 日本医師会 ORCA 管理機構代表取締役社長による「ORCA プロジェクトの現状と今後について」、講演 2 は、各省庁の IT 関連の委員もされている矢野一博 日医総研主任研究員による「医師資格証、医療等 ID 等について」で、講演内容は、前項の「平成 28 年度日本医師会医療情報システム協議会」の報告内容と大筋では同様なので詳細は割愛する。

講演 1 は、ORCA の現状、ORCA のセカンドステージ、特に次の 10 年戦略、さらに次世代医療 ICT 基盤での日医 ORCA 管理機構の役割について話された。

現状としては、日レセ導入医療機関は全国で 16,122 施設 (2017 年 2 月現在)、山口県での導入率は 18.5% (全国平均 17.7%) であり、オープンソースである日レセの市場投入によりメーカー製レセコンの市場価格の下落に貢献したことを力説された。ORCA、次の 10 年戦略としては、医事 / 介護の会計処理エンジンとして組み込み可能なものに発展させ、全国の医療 / 介護施設に共

通して存在する保険請求の基盤を作ること、加えて次世代医療 ICT 基盤と「医療情報匿名加工・提供機関 (仮称)」、身近なインターネットを安全に使用できる MEDPost についても言及された。

講演 2 では、医師資格証、医療等 ID、医療等分野専用ネットワーク構想の 3 項目について話された。医師資格証は、全国での発行数は 7,726 件、山口県は 121 件 (2017 年 1 月 31 日現在) で全国第 10 位とのことである。医療等 ID を導入することにより、step1 として行政機関における医療分野での利用拡大、step2 として医療保険システムの効率化・基盤整備、step3 として医療連携や研究分野に ID を活用することが期待される。医療等分野専用ネットワーク構想とは、すべての医療機関等が接続できる悉皆性のある公的な全国ネット構想で、具体的には一つの回線を利用して安全にさまざまなサービスを利用できる仕組みとなるとのことである。

昨今、国策として 2020 年を目標年にマイナンバー法を始めとする IT 化が急速に進んでいる一方、改正個人情報保護法 (平成 27 年 5 月 30 日全面施行) では病歴は要配慮情報の位置づけとなる等、情報の慎重な取扱いの整備がなされてきている。このような流れの中、個人の医療情報は、医療 ID など厳格なセキュリティで守りながら推進することが重要であると再認識した講演であった。

もっと、あなたの笑顔に
近い銀行へ。



山口銀行
YAMAGUCHI BANK



応援してください。
やまぎんも、私も。